

セッション名：サテライトシンポジウム 第2回不整脈薬物治療サミット
セッションタイトル： 不整脈薬物治療の新たな幕開け

第2部 心房細動の薬物治療の新たな方向性と将来展望

座長：井上 博（富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二）

池田 隆徳（東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野）

第2部では、日本循環器学会「心房細動の管理に関するガイドライン」が5年ぶりに改訂される予定である。その主な変更点と概略についてわかる範囲で解説していただくことにした。現在の心房細動の薬物治療の中心は、いうまでもなく抗血栓凝固療法である。まず、抗凝固療法の必要性を吟味し、そのうえでリズムコントロール療法もしくはレートコントロール療法のいずれかを選択する方針となっている。三田村秀雄先生には、リズムコントロール療法とレートコントロール療法の方針について解説していただく。続いて山下武志先生には、虚血性脳卒中の予防における抗血栓凝固療法の方針を解説していただく。本サミットが、心房細動に対する薬物治療の指針を知るよい機会になっていただければ幸いである。